



真

みんなの詩♪

～でいれくた～ずかっと～

MEET ZERO

るしえ堂

輝夜「月夜の晩の丑三つ時にヤモリとバラと  
ロウソクを〜♪焼いて潰して粉にして、  
スプーンいっぱい食べるぞみんなー!!!」

兎達「「うおー!!!!」」

輝夜「そして一言唱えれば♪世にも不思議な  
呪文に・・・なるよ？」

兎達「「うおー!!!!」」

輝夜「ハタラキタクナイデゴザル。」  
うどんげ「はたらいてください。」

てゐ「姫の夏休み72目突入で一す。」

ホロレ  
チュチュ♡  
パレロっ？



てるちゃんの  
夏休み♪  
～えんどれすさき～



■てあ「おーい、タイトル変わってんぞー？」

うどんげ「姫・もう秋です。マジかんべんしてください。」



聞いてみんな。今日は朝になってから寝て、  
そこからどれくらいまで寝続けれるか試し  
てみたらまた朝になってたのっ！

「姫様は格が違いますね。」

「いや、いろいろおかしいだろ・・・」

とかイナバ達に言われたわ。

むしろなんで誰も起こしてくれないのかが  
謎だわ・・・。



■ヒマなので散歩していたらもこたんが  
温泉に入ってるのをつつい見かけて  
おもわず着替えをバニーガール服に  
入れ替えといたら、律儀に着たまま  
たずねてきて、そのまま夕食に招いたわ。  
「なんかオマエに対していちいち怒るのも  
疲れたよ私は。あ、てゐ醤油とってくれ」  
「ういさー」  
「とりあえずついでに洗っといてくれ」  
..怒らないとつまんないー。



今日はうちのえーりんが  
「今日はコスプレデーです☆」  
とかいい年してめかしていた  
ので診察中に能力を使って  
もみもみしてあげたわ

患者は血吹いてたけど  
後でお礼を言われた。  
ふっ、よせやい・・・

ちよっ!?

グアイッ♡

もみ♡



もこたんの恥ずかしい  
写真・・・



「悪いんじゃない：！」



妹紅「なあ輝夜・・・・。」

輝夜「なあに？もこたん。」

妹紅「・・・満足か・・・？」

輝夜「ああ満足SA!!」

妹紅「よし殺す。」

輝夜「何度も同じ手に引っかかる方が

■今日はお祭りだった。

えーりんに着物を着せたらとても

よく似合うが胸元が卑猥・・・

えーりん曰くこれは嗜み

らしい・・・大人だ・・・



今日はちょっぴり暑かったので  
浴槽に水をためて、てあとうどんげと  
遊んだわ v  
えーりん「の部屋にあった歩くと体力が！  
つつ減りそうな沼地の色になる入浴剤と  
謎の飲み物？も持ってきたりと・・・。  
ぶはー、なにこれ・・・変な味が・・・。

うどん「姫、それ賞味期限が200年ほど  
前・・・」

くぼはぁっ！？おのれえ謀ったなやゴコロっ！！

てあ「そのア○ファエーは完全ではなかったのだよ。」

うどん「えと、ではそろそろお時間ですので  
皆様また来年の夏にお会いしましょう。さようならー」  
てあ「ばいに一。」

えーりん「あ、姫私の部屋にあった腐敗したドリンク  
しりませんか？」

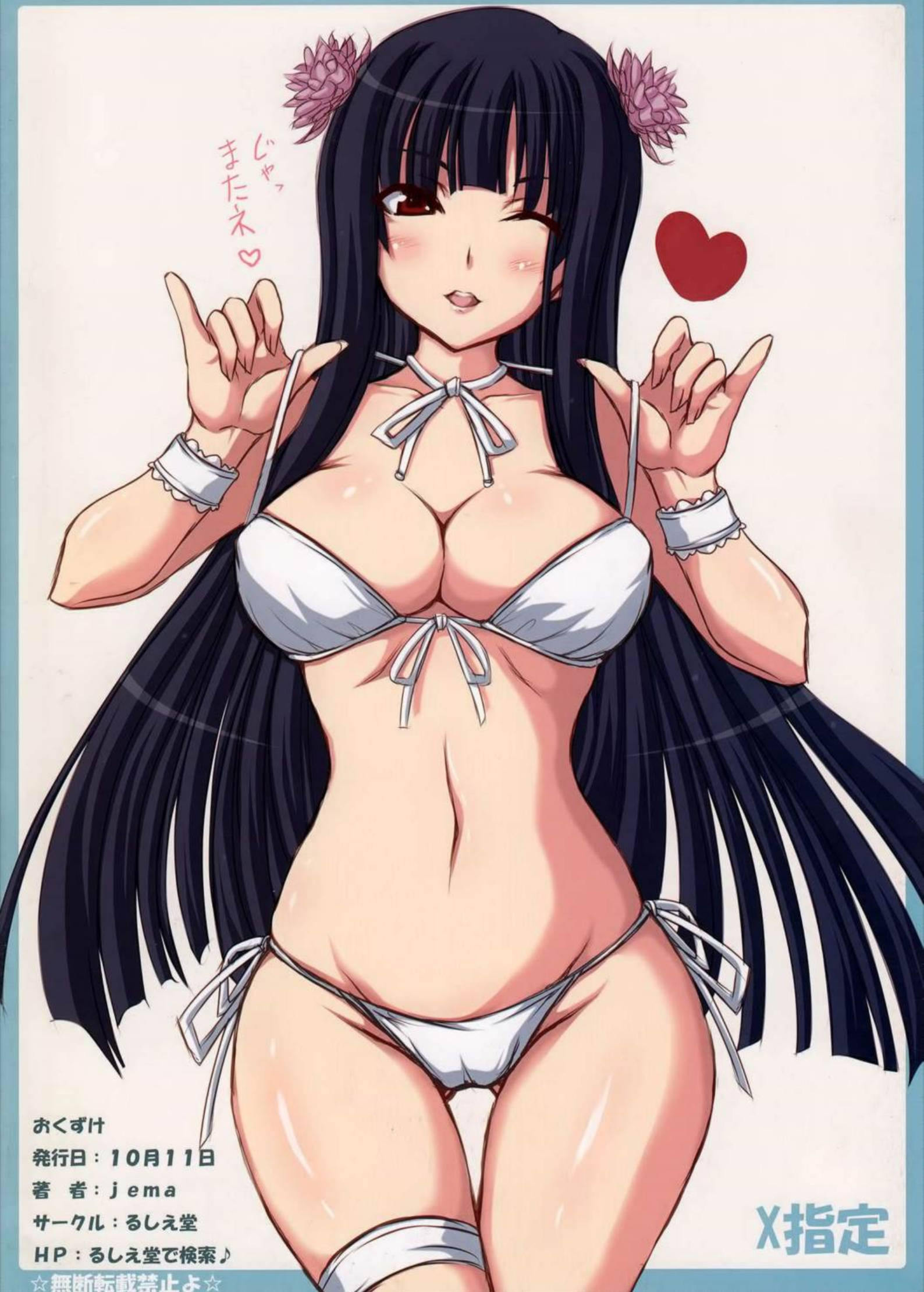
輝夜「いまさらおそいわほけー。」

えーりん「Σ」

妹紅「早く終われよwww」

☆ 来年に続く☆  
著者：jema





いゃっ  
またね♡

おくずけ

発行日：10月11日

著者：jema

サークル：るしえ堂

HP：るしえ堂で検索♪

☆無断転載禁止よ☆

X指定